

**LOVE SAIJO**  
まちへの愛が未来をつくる

編集・発行：経営戦略部 政策企画課

〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷 164  
TEL：0897-56-5151 FAX：0897-52-1200

発行年月：令和7年3月



HP



Facebook



LINE



Instagram

第3期

# 西条市 総合計画 2025~

概要版

# 市民はどんなまちを望んでいるかな？

## 主な意見

市民アンケートより

通勤や通学等、日常生活で大事な道路整備や公共交通機関を充実させてほしいなあ。

自然環境やごみに対する意識がもっと高まるといいなあ。

農業、水産業、林業等、自然豊かな西条市を全国へ売り込んだら、産業の活性化につながるのではないかな。

西条市が誇る歴史と文化の保存・承継につながるふるさと教育にもっと力を入れてほしい。

子育て支援や、介護サービス、医療連携、障がい者（児）にも目を向けてほしいです。

地域防災体制の強化や防犯対策等、生活の安全・安心が守られるまちがいいです。

人口減少社会に向けたまちづくりの方向性をしっかりと示してほしい。

豊かに湧き出る「うちぬき」を守っていききたい。

## 主な意見

市民ワークショップより

学校と地域がいっしょに学校運営（コミュニティ・スクール）を進めていくとともに、教育施設の集約化・複合化も検討してほしい。

子どもを産み育てやすいまちづくりを進めてほしい。

海・山・川・うちぬき等の自然資源を次世代へ引き継ぐための取組を進めるのが大事だと思う。

親子参加型の防災教室の開催や地域防災マップの作成等を行うと、みんなの防災意識が高まるのではないかな。

行政サービスや LOVE SAIJO ポイントの活用等、デジタル技術の活用を進めればもっと便利になるよね。

若い人や外国からきた人など、働く人を増やす取組があればいいな。

空家や空地が増えているので有効活用できるといいね。

市役所でいろいろな分野を横断する窓口があると便利でいいのになあ。



# 今後のまちづくりのため、どんな取組が必要かな？

## 01 人口減少・少子高齢化への対応

今後、西条市の総人口は減少し、高齢者の割合は上昇していきます。

これにより、人口構造が大きく変化することを踏まえて、長期的な視点から人口の変化に応じたマネジメントに取り組んでいく必要があります。



## 02 地域を挙げたデジタル化の推進

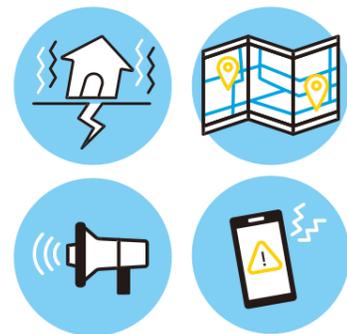
社会情勢の変化やデジタル技術の向上が急速に進む中、様々な業種でDX（デジタル・トランスフォーメーション）の取組が拡大しつつあり、行政においても、DXの取組を進めていく必要があります。



## 03 大規模災害等から市民の命と暮らしを守る

「南海トラフ巨大地震」等や風水害をはじめ、感染症等のパンデミック等、現代社会を取り巻くリスクは多岐にわたります。

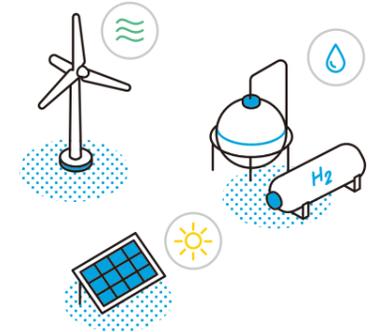
あらゆる危機を想定した危機管理体制の構築が求められており、公民連携による地域防災力の強化を図ることが求められています。



## 04 カーボンニュートラルの実現・地下水の保全

企業等と連携した省エネルギー化や、再生可能エネルギーの導入等を促進することで、地球温暖化対策を進めます。

また、西条市の地下水は市民の共有財産であるという認識のもと、節水意識の向上や森林保全等に取り組む必要があります。



## 05 地域経済のさらなる発展と産業人材の確保に向けた支援

西条市は製造業を中心とした多様な企業が臨海部に立地するなど、ものづくりのまちとして発展してきました。引き続き、就業機会の創出や魅力ある職場づくりへの支援に加え、労働力不足を見据えた生産性向上を図る取組への支援に努める必要があります。



## 06 暮らしやすさの幸福度の向上

人口減少・少子高齢化が進む中、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現する社会を目指すことが重要であるため、「住みやすい、住み続けたいまち」として評価されるまちづくりを進めていく必要があります。



目指す将来都市像の実現に向けて  
こんな目標を立てました。

# 人がつどい、まちが輝く、 快適環境 実感都市

## 重点目標 1

### 充実した教育が実感でき、 子どもを安心して育てられるまち

人口減少・少子高齢化の時代の中で、将来にわたって「住み続けたいまち」となるため、これまで以上に、子どもにとっても親にとっても魅力あるまちを目指します。



## 重点目標 2

### 心身ともに健康で、 誰もが自分らしく暮らせるまち

年齢や障がいの有無に関わらず、全ての市民が生涯を通じて健やかに自分らしく暮らせるよう、保健・医療・福祉サービスを、地域一丸となって一体的に提供します。



## 重点目標 3

### 地域と連携して防災対策に 取り組むまち

地震や台風・豪雨災害等に備えて、市民の安全・安心の確保を図るとともに、市民自らの防災意識を高め、地域と連携して防災対策を進めていきます。



## 重点目標 4

### 多様な産業をはぐくみ、 「しごと」を生み出す豊かなまち

市民所得の向上と地域経済のさらなる活性化のため、新たな企業の立地や既存企業の設備投資の促進、人材確保や事業承継、創業の支援等を進めていきます。

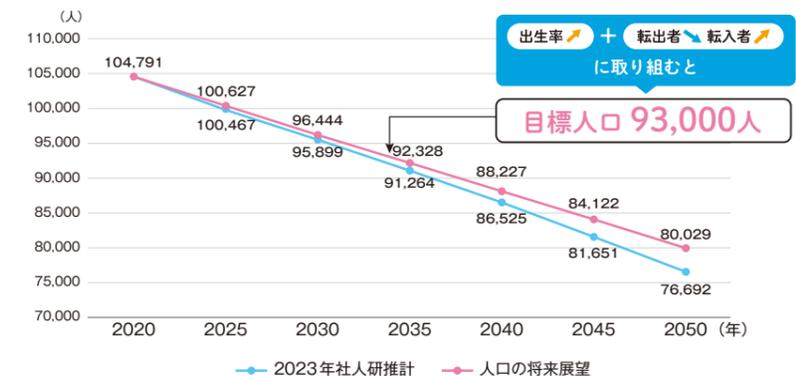


## 人口減少を 見据えて

人口減少・少子高齢化を迎えている現在、西条市が将来にわたって「住みやすい、住み続けたいまち」となるためには、若者世代や子育て世代が移住・定住を希望するような魅力あるまちづくりを推進し、転入促進と転出抑制の両面から、人口減少を見据えた取組を進めることが重要です。



西条市の  
目標人口  
**93,000人**  
(令和16年  
(2034年))



# 基本計画

ここからは、分野ごとの具体的な目標を紹介します。  
 まちづくり市民アンケートやワークショップ、審議会等で、市民の声を取り入れました。  
 一人ひとりが、まちのことに興味を持って取り組むことで、目標の達成に近づきます。あなたは、何にチャレンジしますか？

## 表の見方

施策名				
みんなで実現をめざす 地域社会のイメージ	イメージ写真			
まちづくり 指標	まちづくり指標=令和11年度に向けた目標 <table border="1"> <tr> <td>基準値 (令和6年度)</td> <td>▶</td> <td>目標値 (令和11年度)</td> </tr> </table>	基準値 (令和6年度)	▶	目標値 (令和11年度)
基準値 (令和6年度)	▶	目標値 (令和11年度)		

## 基本目標 1

健やかに生き生きと  
暮らせる  
福祉のまちづくり

## 基本目標 2

豊かな自然と  
共生する  
まちづくり

### 1 | 子ども・子育て支援の充実

- 妊娠期から子育て期にかけて母子の健康が守られるまち
- 子どもを産み育てる幸せを実感するとともに、安心して子育てできる環境が整ったまち



まちづくり 指標	子育て支援サービスの満足度を向上します 11.0% (令和6年度) ▶ <b>23.3%</b>
-------------	---

### 2 | 健康づくり・医療体制の充実

- 必要に応じた医療サービスを適切に受けられるまち
- 市民が自らの健康を管理し、心身共に健康で生涯を過ごせるまち
- 生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しめるまち



まちづくり 指標	市民の健康寿命を延伸します <table border="1"> <tr> <td>(健康寿命：平均自立期間) 男80.3歳、女84.7歳 (令和5年度)</td> <td>▶</td> <td>(健康寿命：平均自立期間) 男81.8歳、女85.4歳</td> </tr> </table>	(健康寿命：平均自立期間) 男80.3歳、女84.7歳 (令和5年度)	▶	(健康寿命：平均自立期間) 男81.8歳、女85.4歳
(健康寿命：平均自立期間) 男80.3歳、女84.7歳 (令和5年度)	▶	(健康寿命：平均自立期間) 男81.8歳、女85.4歳		

### 3 | 福祉の充実

- 高齢者が住み慣れた地域で生涯にわたって暮らし続けられるまち
- 障がいのある人もない人も、互いに理解し共に安心して暮らせるまち
- 生活に困っている人が自立した生活を送ることができるまち



まちづくり 指標	市民の福祉の充実に関する満足度を向上します 0.02 (令和6年度) ▶ <b>0.10</b>
-------------	---



### 2 | 水資源の保全

- 西条市が誇る「うちぬぎ」を未来へつなぐまち
- 市民、事業者、行政等が連携して豊かな地下水を保全するまち



まちづくり 指標	市民の水資源の保全に関する満足度を向上します 0.78 (令和6年度) ▶ <b>0.90</b>
-------------	--

### 4 | 上水道の整備

- 生活を支える水を安心して利用できるまち



まちづくり 指標	住みやすいと回答する市民の割合を向上します 41.8% (令和6年度) ▶ <b>60.0%</b>
-------------	---

### 1 | 自然環境の保全

- 豊かで持続可能な自然環境や生物多様性を保全するまち
- 市民、事業者、行政等の協働や行動変容でゼロカーボンシティを実現するまち



まちづくり 指標	市民の自然環境の保全に関する満足度を向上します 0.61 (令和6年度) ▶ <b>0.75</b>
-------------	---

### 3 | 循環型社会・衛生美化の推進

- 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進により、循環型社会を形成しているまち
- 不法投棄等がなく、生活環境が保全された清潔で快適なまち



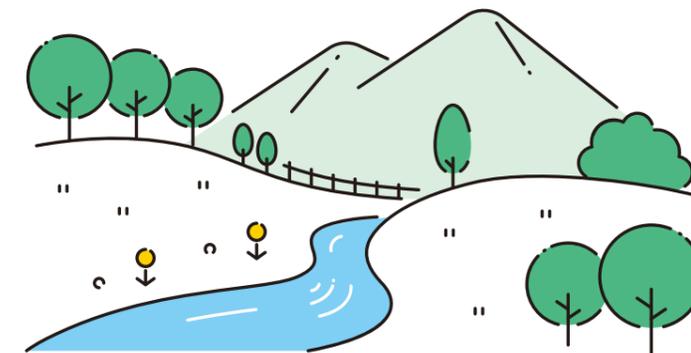
まちづくり 指標	住みやすいと回答する市民の割合を向上します 41.8% (令和6年度) ▶ <b>60.0%</b>
-------------	---

### 5 | 下水道の整備

- 誇れるきれいな川や海が、未来へつなげられるまち
- 水洗トイレが使える、快適に暮らせるまち
- 豪雨等の浸水に強く、安心して暮らせるまち



まちづくり 指標	住みやすいと回答する市民の割合を向上します 41.8% (令和6年度) ▶ <b>60.0%</b>
-------------	---



# 基本目標 3

## 快適な都市基盤の まちづくり

### 2 | 都市基盤の整備

- 快適な都市空間を実感することができ、都市機能を持続的に確保できるまち
- 市民が日々快適に過ごせるとともに、防災減災等の拠点にもなる公園が適所にあるまち
- 港湾機能による人流や物流から、活気のある暮らしや経済を実感できるまち



まちづくり指標

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

41.8% (令和6年度) ▶ **60.0%**

# 基本目標 4

## 災害に強く安全で 安心して暮らせる まちづくり

### 2 | 生活安全の確保

- 犯罪のない安全・安心に暮らせるまち
- 市民が自立した消費者として、安全・安心に消費活動を行えるまち
- 交通事故のない安全・安心に暮らせるまち



### 1 | 交通体系の整備

- 市内道路網の整備により、誰もが安全に移動でき、快適に生活できるまち
- 公共交通網の維持により、移動手段が確保され、いつまでも暮らし続けられるまち



まちづくり指標

住みやすいと回答する市民の割合を向上します

41.8% (令和6年度) ▶ **60.0%**

### 3 | 住宅・宅地の整備

- 居住地域において、不安なく安全で快適な生活を実感できるまち
- 住居を必要とする人が安全で快適な住居を確保できるまち



まちづくり指標

住宅・宅地の整備に関する満足度を向上します

0.01 (令和6年度) ▶ **0.20**

### 1 | 防災・減災対策の強化

- 災害に強い安全・安心なまち
- 消防体制及び救急・救助体制の整った安全・安心なまち
- 災害時に、市民自らが自らを守るとともに、互いに助け合うことができるまち



まちづくり指標

西条市が安全・安心だと思う市民の割合を向上します  
(測定は「防災・減災体制の強化に関する満足度」で実施)

0.17 (令和6年度) ▶ **0.30**

まちづくり指標

西条市が安全・安心だと思う市民の割合を向上します  
測定は「防犯対策の推進に関する満足度」で実施

0.04 ▶ **0.27**

測定は「交通安全対策の推進に関する満足度」で実施

0.28 ▶ **0.34**  
(令和6年度)

# 基本目標 5

## ふるさとを愛する 豊かな心を育む 教育・文化の まちづくり

### 2 | 社会教育の充実

- 生涯にわたり学びの機会や学習の場が充実しているまち
- 公民館等を拠点に市民がつながり、地域活動に活かされるまち
- 市民一人ひとりが自らの知識・能力・経験を地域づくりに還元できるまち



まちづくり指標

社会教育に関心のある市民の割合を向上します

1.18 (令和6年度) ▶ **1.43**

### 4 | 歴史文化の保全と活用

- 市民共有の財産として文化財を次代に継承していくまち
- 郷土の先人・偉人の優れた業績に身近に触れることができるまち



まちづくり指標

市民の歴史文化の保全・活用に関する関心度を向上します

1.02 (令和6年度) ▶ **1.05**

### 1 | 学校教育の充実

- 学校での学びを通じて、時代に対応できる「生きる力」を育むまち
- 子どもの個性を尊重し、知・徳・体のバランスのとれた学びを提供するまち



まちづくり指標

学校教育に対する満足度を向上します

0.978 (令和6年度) ▶ **1.070**

### 3 | 地域文化の振興と継承

- 郷土の歴史・伝統・文化を愛する心を育み、次代に継承できるまち
- 市民が身近に文化芸術活動に参加できるまち



まちづくり指標

市民の地域文化の継承・形成に関する関心度を向上します

1.04 (令和6年度) ▶ **1.05**

### 5 | 人権・同和教育の推進

- 市民一人ひとりに人権感覚が身に付き、互いが尊重されるまち
- 部落問題をはじめとする、あらゆる差別の解消を目指す、人権文化の根付いたまち



まちづくり指標

市民の人権・同和教育の推進に関する重要度を高めます

0.94 (令和6年度) ▶ **1.00**



# 基本目標 6

## 活力あふれる 産業振興の まちづくり

### 2 | 林業の振興

- 森林の持つ多面的機能が維持され、豊かな自然と良質な水資源が確保できるまち
- 森林資源の循環利用が図られ、持続可能な林業経営が営まれるまち



まちづくり指標 林業産出額を増加します  
3億500万円 (令和4年度) ▶ **3億5,000万円**

### 4 | 企業活動の活性化

- 優れた立地環境を活かし、既存企業の成長と新たな企業の誘致が促進されるまち
- 積極的な設備投資や人材育成等により、企業活動が活性化されるまち



まちづくり指標 製造品出荷額等における粗付加価値額の比率を維持します  
21.0% (令和4年度) ▶ **21.0%**

### 6 | 観光産業の創出

- 国内外を問わず、あらゆる人が訪れたいと思えるまち
- 訪れた人が来てよかった、また来たいと思えるまち



まちづくり指標 観光消費額を増加します  
54億1,293万円 (令和5年度) ▶ **56億8,350万円**

### 1 | 農業の振興

- 豊かな自然環境を活かした持続可能な農業が営まれるまち
- 農作物の高付加価値化と販路拡大により収益が確保される農業が営まれるまち
- 農地の保全と整備が行き届いた農業生産活動ができるまち



まちづくり指標 農家所得を向上します (1,000万円以上販売する農業経営体数の増加)  
121経営体 (令和2年度) ▶ **130経営体**

### 3 | 水産業の振興

- 水産業を取り巻く環境の改善により、持続可能な水産業経営が営まれるまち



まちづくり指標 漁業者所得を向上します (1,000万円以上販売する経営体数の増加)  
23経営体 (平成30年度) ▶ **25経営体**

### 5 | 事業創出に向けた環境づくり

- 起業・創業により自己実現に向けたチャレンジがしやすいまち
- 商品開発や販路拡大等により、産業が活性化されるまち



まちづくり指標 市内就業者1人当たりの市内総生産額を維持します  
9,228千円 (令和3年度) ▶ **9,228千円**

### 7 | 産業人材・雇用環境

- 産業人材の確保・育成・活躍による産業が発展するまち
- 魅力ある職場の実現により、誰もが生き生きと働けるまち



まちづくり指標 市内企業の就職件数を維持します  
1,070件 (令和6年度) ▶ **1,070件**

# 7

## 構想の実現に 向けて

### 2 | 人口減少対策とシティプロモーションの推進

- 市民が西条市の魅力を誇りに感じ、住んでよかったと実感することができるまち
- 西条市の活気を持続可能なものとするため、移住・定住や人的交流が盛んなまち



### 1 | 協働によるまちづくりの推進

- 地域の住民や団体が主体となり、連携することで地域の課題解決や地域づくりに取り組むまち
- 市民一人ひとりが、性別や国籍等に関係なく、個性と能力を発揮することができるまち
- 市民との対話や情報公開・共有により、市民との協働によるまちづくりが進むまち



### 3 | 行財政運営の推進

- デジタル技術の活用により、利便性と質の高い市民サービスを実感できるまち
- 中長期的な視点から健全な行財政運営が行われているまち

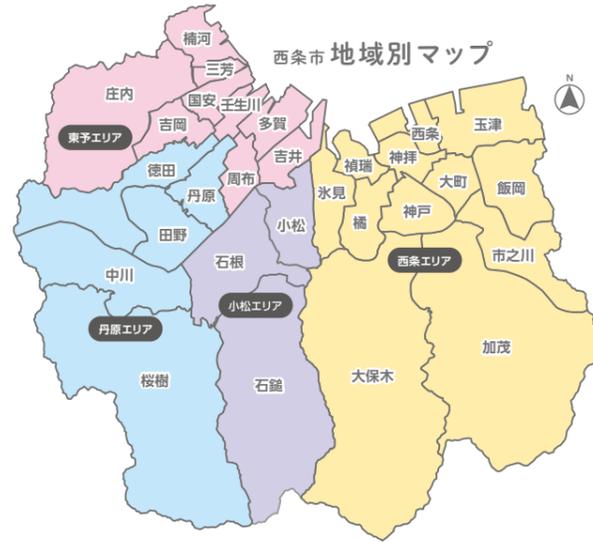


# わたしたちの地域はどうか？

下の表は、小学校区別の人口・児童数の推移です。

お住まいの地域はいかがですか。

人口減少を受け、今後どのような未来を築き残すかは、私たち一人ひとりにかかっています。



小学校区別人口・児童数の変化 (2020~2050年)

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増減
玉津	校区人口	9,287	9,586	9,872	10,114	10,332	10,562	10,872	+1,585
	児童数	513	554	583	614	637	638	664	+151
飯岡	校区人口	5,947	5,596	5,238	4,888	4,538	4,143	3,792	-2,155
	児童数	315	268	226	202	196	194	181	-134
西条	校区人口	7,886	7,798	7,657	7,505	7,346	7,091	6,863	-1,023
	児童数	507	481	443	402	353	317	287	-220
神拝	校区人口	13,659	13,806	13,823	13,742	13,583	13,345	13,099	-560
	児童数	759	748	718	680	643	596	554	-205
大町	校区人口	10,445	10,152	9,824	9,526	9,242	8,852	8,488	-1,957
	児童数	601	543	496	465	440	419	404	-197
神戸	校区人口	3,349	3,130	2,873	2,618	2,379	2,159	1,961	-1,388
	児童数	207	183	142	115	103	97	90	-117
禎瑞	校区人口	1,367	1,262	1,157	1,067	975	877	784	-583
	児童数	76	56	40	34	34	35	32	-44
橘	校区人口	1,736	1,565	1,391	1,221	1,076	935	805	-931
	児童数	92	73	55	43	33	27	23	-69
氷見	校区人口	3,630	3,342	3,054	2,795	2,550	2,307	2,088	-1,542
	児童数	171	152	131	124	120	114	107	-64

想像してみよう!

人口や児童数が減少していくと、みなさんの地域にどんな変化が起こると思いますか。

---



---



---

		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増減
周布	校区人口	3,304	3,181	3,036	2,876	2,741	2,593	2,495	-809
	児童数	173	170	165	155	143	138	139	-34
吉井	校区人口	2,203	2,041	1,837	1,650	1,474	1,281	1,106	-1,097
	児童数	122	107	76	58	48	45	41	-81
多賀	校区人口	5,202	5,274	5,295	5,311	5,291	5,224	5,131	-71
	児童数	259	243	239	238	240	231	216	-43
壬生川	校区人口	5,212	4,933	4,625	4,306	3,986	3,662	3,378	-1,834
	児童数	260	232	206	189	169	148	131	-129
国安	校区人口	3,854	3,533	3,225	2,899	2,568	2,260	2,003	-1,851
	児童数	177	175	163	145	127	112	105	-72
吉岡	校区人口	2,233	2,132	2,013	1,890	1,759	1,630	1,512	-721
	児童数	131	124	111	102	92	80	74	-57
楠河	校区人口	2,644	2,363	2,075	1,788	1,519	1,260	1,041	-1,603
	児童数	86	69	54	41	31	25	19	-67
三芳	校区人口	2,012	1,873	1,724	1,560	1,394	1,229	1,075	-937
	児童数	94	85	76	67	53	41	33	-61
庄内	校区人口	1,908	1,743	1,556	1,403	1,245	1,099	961	-947
	児童数	80	57	46	43	42	36	30	-50
丹原	校区人口	5,122	4,808	4,446	4,082	3,724	3,339	2,997	-2,125
	児童数	264	232	184	150	126	103	87	-177
徳田	校区人口	1,337	1,199	1,065	925	805	676	564	-773
	児童数	54	41	27	18	13	12	11	-43
田野	校区人口	2,010	1,846	1,686	1,510	1,339	1,168	1,021	-989
	児童数	78	66	53	42	31	23	19	-59
中川	校区人口	2,305	2,007	1,734	1,466	1,215	990	800	-1,505
	児童数	86	66	43	26	17	13	10	-76
田滝	校区人口	226	204	175	150	124	102	81	-145
	児童数	7	5	4	1	0	0	0	-7
小松	校区人口	5,431	4,892	4,350	3,831	3,347	2,901	2,491	-2,940
	児童数	304	226	164	132	111	96	81	-223
石根	校区人口	2,484	2,267	2,037	1,809	1,582	1,336	1,113	-1,371
	児童数	96	80	49	31	25	20	17	-79

※児童数60人(1学年あたり10人)を基準として下回る箇所を着色

※データ処理の都合上、小学校が現存する校区を基準として算出しています

※国勢調査データから算出していますので、住民基本台帳データと異なります

※算出方法の都合上、住民基本台帳データとの乖離が大きくなっている校区があります

考えてみよう!

もしあなたが市長だったら、人口減少を防ぐためにどんなことを考えますか。

---



---



---